

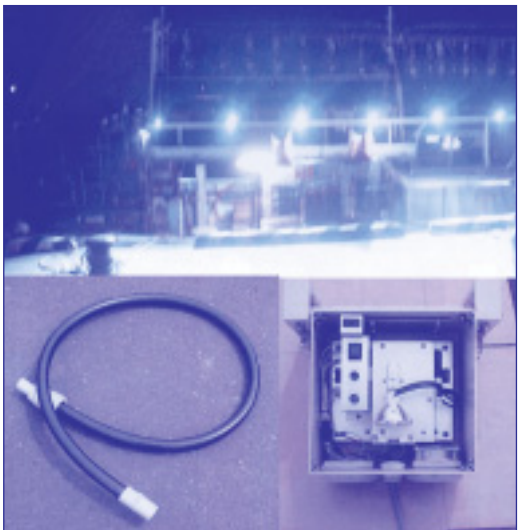
LED集魚灯について

「LED集魚灯については、いかつり漁船では結果が出ていないが、サンマ漁船では結果が良く装備が進んでいるようだ。」

LEDを含め新型の集魚灯については、新たな光力制限を検討する必要がある。「新しい集魚システムについて」

現在のメタルハライド集魚灯に代わる省エネ型集魚灯としてLED集魚灯の開発、試験作業が行われていますが、いか釣りにおいては良い結果が得られておりません。

このような中、北海道で取組まれている新しい集魚システムについてご紹介いたします。



光ファイバー集魚灯

①光ファイバー集魚灯

六十Wの小型メタルハライド球を光源として光ファイバーケーブルを利用し集魚を行うシステムで、開発メーカーの試算では、現行のメタルハライド集魚灯の一・六%の燃料消費ですむとのこと。小型いか釣り漁船で試験操作中ですが、光ファイバーの本数、光源の光力、光の放射角度等の改良が必要のようです。

②HID集魚灯

自動車のヘッドライトに使用されているHID灯をパネルに組み込んだ集魚灯で光ファ

イバー集魚灯同様、現行のメタルハライドと比較して十分の一の燃料消費で集魚が行えるシステムです。中型いか釣り漁船がフル装備し作業を行っていますが、小型いか釣り漁船では、まだフル装備操作は行われていません。六灯式一台の重量が約十九kgあり、小型いか釣り漁船に装備するためには、軽量化が必要のようです。

H I D集魚灯

